
























説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)


















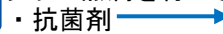










様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	手術当日 (術前)	手術当日 (術後)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心身ともに安定した状態で検査・治療が受けられる</li> <li>○術前ケア・準備の必要性が理解でき参加・実践できる</li> <li>○術後合併症予防のための計画された方法を実践できる</li> <li>○生活習慣の問題点を確認できる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症(出血・循環障害・血栓塞栓症・下肢麻痺・感染)をおこさない</li> <li>○心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリが行える</li> </ul>
検査	身長体重測定		  採血 レントゲン撮影 体重測定
食事	・夕食後絶食、 21 時以後絶飲食 ※経口補水液は麻酔科医の 指示で服用	 絶飲食	治療食再開 ※希望があれば消化のよい 食事(全粥食)にも変更可
	朝食は 自宅で	 	  
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)	 時間になれば、 看護師が手術室に ご案内します	手術後以下の挿入物、 装着物があります <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素マスク → 取り外します</li> <li>・胃管(必要時) → 取り外します</li> <li>・心電図モニター → 状況を見て取り外します</li> <li>・点滴の管(CV カテーテル)</li> <li>・創部の管(ドレーン)</li> <li>・尿道カテーテル → 取り外します</li> <li>・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します</li> </ul>
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください		 以下の点滴を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続点滴 →</li> <li>・抗菌剤 →</li> </ul>
	 眠前に眠剤を 服用します		
行動・リハビリ	 シャワー・洗髪を してください	 以下の手術準備を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワー浴</li> <li>・手術着に着替え</li> <li>・入れ歯・時計・眼鏡・アクセサリーの取り外し</li> </ul>	 午前中全身清拭し、手術 着からパジャマに着替え ます  検査は車椅子でいきます
	 制限はありません		 翌朝まで床上安静です (ヘッドアップ30° まで可能です)
説明	 医師・麻酔科医より(外来又は入院時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療計画について</li> <li>・手術について</li> <li>・麻酔について</li> </ul>	 看護師より <ul style="list-style-type: none"> <li>・術後の注意点について</li> <li>・安静について</li> <li>・下肢運動について</li> <li>・痛み止めの使用方法について</li> </ul>	
	 病棟・手術室看護師より <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院生活について(パスシートを使用)</li> <li>・手術について</li> <li>・心臓リハビリテーションについて</li> </ul>		
	 薬剤師より <ul style="list-style-type: none"> <li>・持参薬確認</li> <li>・使用薬剤について</li> </ul>		

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日
経過	術後 2 ~ 4 日目	術後 5 日目	術後 6 ~ 7 日目	術後 8 日目 (退院日)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症(出血・循環障害・血栓塞栓症・下肢麻痺・感染)をおこさない</li> <li>○心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリが行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症(血栓塞栓症・感染)をおこさない</li> <li>○疾患と生活習慣の関連を理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症(血栓塞栓症・感染)をおこさない</li> <li>○生活習慣を改善する必要性を認識し、具体的な改善目標を設定できる</li> <li>○退院後の注意点が述べられる</li> </ul>	
検査	   必要に応じて採血、レントゲン撮影、CT撮影 ・体重測定 			
食事	※希望があれば、消化のよい食事(全粥食)にも変更できます           			
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管(CV カテーテル) → 不要となれば抜去します ・創部の管(ドレーン) → 排液の状況で抜去します  創部を観察、処置を行います 		退院時にリストバンドを外します	
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(自己測定も実施予定です)			
点滴・内服	 以下の点滴を行います ・抗菌剤 			
行動・リハビリ	 術後 3 日目以降医師の許可がでたら状況に合わせて創部・点滴挿入部を保護し、シャワー浴を再開します ※初回は見守り下でのシャワー浴となります  検査は車椅子で行きます		 医師の許可で創部の保護を外してシャワー浴をします (週 3 回病棟毎で日が異なります)  検査は歩いて行きます (状況により車椅子)	
	 心臓リハビリテーションを継続します 		 目標を立て、心臓リハビリテーションを継続します 	
説明・指導	 看護師より 術後 3 日目頃より状況に合わせて生活指導		 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)	

